

2026 年度 文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験  
2026 年度 スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験  
「政策科学部」

---

1. 実施状況

志願者数、合格者数等

【文芸】

学科・専攻	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
政策科学科・政策科学専攻	4	1	1

【スポーツ】

学科・専攻	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
政策科学科・政策科学専攻	8	8	8

2. 試験内容

口頭試問では、以下の2つの質問を出題しました。

【質問1】 大学卒業後のあなたの将来の進路や目標は何ですか？明確に定まったものがなくともそのことについてあなたが考えていることを述べてください。

【質問2】 将来の進路や目標を踏まえて、政策科学部では、どのようなテーマについて学習しようと考えていますか？入学から卒業までの4年間を通じた学習計画を、できるかぎり具体的に考えて、そのことについて述べてください。

3. 出題意図

政策科学部のアドミッション・ポリシーやカリキュラムへの理解度、学業と課外自主活動を両立するための手立てに加えて、将来の進路や目標、それを実現するための政策科学部での具体的な学習計画などを確認することを意図しました。

4. 評価のポイント

学業と課外自主活動を両立しながら、将来の進路や目標を実現するための学習計画が立てられているか、また、それらを政策科学部での学びと結びつけて論理的かつ説得的に説明できているかを中心に評価しました。

5. 解答状況

受験生は、大学入学後に何をどのように学びたいのか、それらを将来にどのように活かしたいのかについて、政策科学部の教学内容と結びつけて具体的かつ論理的に表現できていました。学業と課外自主活動を両立するための手立てについてもよく考えられており、政策科学部で学ぶ意欲が感じられました。

## 6. 次年度以降の受験生へのアドバイス

策科学部では、解決が必要とされている政策課題に対して、実践レベルに踏み込み、よりよい社会を創造するための学びを展開しており、こうした学びにチャレンジする学生を求めています。

策科学部のカリキュラムを良く理解したうえで、学業と課題自主活動の両立のための手立て、将来の進路や目標、それを実現するための具体的な学習計画について、深く考えてみてください。また、考えたことをわかりやすく、論理的・説得的に説明できるように、日頃から心がけて下さい。

## 7. 進路指導上の留意点（主に高校教員向けの入試指導上のポイント）

策科学部では、アドミッション・ポリシーに基づき、入学時点において以下の学力、関心を有することを求めます。

- (1) 高等学校などの教育によって修得した基礎的な学力を有していること。
- (2) それらの知識に基づく問題解決のための思考や態度、能力習得に関心があること。
- (3) 広く社会的な課題の解決に向けた実践や構想に意欲があること。

策科学は総合的で文理融合的な学問であり、社会科学だけでなく自然科学の分野にもまたがっています。このような策科学の学びの特徴を理解して、受験生が高校での授業科目などを通じて広範な知識を習得しておくことが期待されています。

以上